

今できること、やれること

練馬光が丘病院 池田結香

はじめに

はじめまして、今回担当させていただく、練馬光が丘病院NDC 8期生の池田結香と申します。

練馬光が丘病院は2022年に新病院となり病床数は457床へ増床し、救急、小児、周産期、災害時医療を中心に練馬区および周辺地域の急性期医療を行う総合病院です。

私がNDCになりたいと思ったきっかけは、看護師として病棟で働いているときに会ったNPの先輩でした。私も患者にもっとできることがあるのではないかと、タイムリーに動けるようになりたい、と考えたときにNDCの存在を知り、目指すことを決めました。

そして、練馬光が丘病院では多数のNP・NDCが在籍しているため、困ったこと、分からないことなども相談でき、さまざまな科で働いている先輩方の活動を見て自分は今後どのように働いていくのか、と日々学ばせていただいています。

1年のローテーション研修

昨年のNDC研修中は病棟で働きながら学習、研修を行い辛い時も多々ありましたが、あっという間の1年で、人としても成長できたのではないかと感じた1年でした。

今年度4月からは練馬光が丘病院でのローテーション研修が始まっています。学びを深めるため、1年の中で各科を回れるように1年の行動目標を立てました。まず、4月から6月は総

合診療内科で指導医のもと患者の受け持ちをさせていただきながら臨床研修を行いました。総合診療内科はチーム制で、カンファレンスでプレゼンテーションを行い、患者の治療方針を考えチームで共有していきます。私自身も受け持ち患者の検査、薬剤の調整、食事内容、今後の方針等を医師に指導していただきながらプレゼンテーションを行い研修させていただいています。記録の書き方、オーダーの出し方、診療情報提供書、など今まで経験しなかったこともたくさんあり、知識のなさに落ち込むことや、分からないことだらけで戸惑うことも多いですが、医師やスタッフがフォローしてくれているおかげでとてもよい環境で研修できていると日々感謝しています。

始めのころは目の前のことで一杯いっぱいでした。「私は何もできていない」と落ち込み、不安になることが多かったのですが、自分が受け持った患者が、徐々に良くなっていくことや、「ありがとう」といって元気に退院していく姿を見ると、もっと頑張ろうという励みになります。

最近では“病気が治ったら家に帰る”のではなく、患者の背景を考え、家に帰った後どのように生活するかも含め、入院中にアセスメント、プランニングすることもNDCだからできるのではないかと考えられるようになりました。そのため、多職種との連携はとても重要であり、専門性を持った方々と意見を共有し患者が一番良い状態で退院できるようにすることが大切だと考えています。

7月からはERでの研修が始まっています。ERでは医療面接、身体診察の方法、臨床検査や



総合心療内科研修中



縫合、抜糸の研修中

治療の決定方針を学び、臨床推論の考え方、実践的なスキルを身につけることを目標にして研修させていただいています。

最初の1週間はどのように行動してよいか分からないことや、自分に初期診療ができるのか、迷惑をかけないか等の不安もあり、ただ先生方が診療しているところを見ているだけのことが多かったのですが「積極的に動かないと学べない」と指導医に言われ、「確かにそうだ」と思い少しずつ自分から行動するようになりました。不安は大きいですが、たとえ間違っている指導してもらい振り返ることで大きな学びになっていると今感じています。「言われたからやる」のではなく患者さんのために自分ができることをやるように常に意識して研修を行っていきたいと思っています。

救急外来では、縫合、抜糸、エコーを当てる場面が多いです。少し時間がある際は、先生方に縫合、抜糸のやり方、エコーの当て方なども学ばせていただいています。先生方が手早く縫合をしているところを見て、私にもできそう、などと考えていましたが、実際にやってみると全くできていないし、エコーに関しても全然描写できていないことも多く落ち込むことが多いのですが、これらも「何回もやることが大事」と

先生に助言していただき、日々研鑽するようにしています。エコーにおいては、侵襲性がなく、簡易的に行える技術であり、病院だけではなく在宅においても活用できるものであるため、しっかりと学び身に付けたいと思っています。

おわりに

これからまだまだ学ばなければいけないことがたくさんあり、医療について学ぶこと、自分の成長にも終わりはないと思っています。不安や、落ち込むことも多々ありますが、それ以上に新しい知識、技術が増えることにうれしさや楽しさもあります。

一つひとつのことを丁寧にやるように心掛け、いつか私も患者さんのため、病院のため、スタッフのために働くことができ、また謙虚な気持ちや周囲に感謝を忘れない気持ちを持って、信頼される特定ケア看護師になれるよう、これから1年の研修を頑張っていきたいと思います。そして、「いつでもどこでも誰にでも」活動できる特定看護師を目指し、貢献していけたらと思います。